



信濃池田図幅地域は 北部フオッサマグナの西縁部に位置し糸魚川-静岡構造線が ほぼその中央を南北に縦断します。

本図幅地域は 地形・地質学的に極めて明瞭に3分されます。すなわち 西部の山岳地帯をなす日本アルプス (2000m以上の高山をもつ飛騨山地とその前山部) 地域 中央部の低地 (とはいっても海拔500m以上) をなす松本盆地北半部 及び東部の丘陵性山地 (1000m以上に達する中山～生坂山地) です。

西部地域は 先新第三系の古期岩類からなり 主に 花崗岩類とその捕獲岩体及び堆積岩が分布します。花崗岩は その侵入時期から3グループに分かれ 第1期花崗岩類はその一部がより後期の花崗岩による熱変成作用を受けており白亜紀後期と推定されます。第2期は 本地域花崗岩の主体をなす有明花崗岩と西股花崗岩で 今回前者については63Ma, 後者は65MaのK-Ar年代が得られ従来の報告より約10Ma古い値を得ましたが 白亜紀-古第三紀という地質学的位置に大きな変更はありません。第3期は滝の沢花崗岩及び金沢花崗閃緑岩でこれと前後してひん岩・流紋岩・安山岩の岩脈類の活動がありました。また これら花崗岩類中には 捕獲岩類として白亜紀の流紋岩質火砕岩類とアルカリ岩類が分布します。また 堆積岩は梓川層群と呼ばれ一部ホルンフェルス化した砂岩・頁岩チャート及び石灰岩からなります。

松本盆地西縁部は 大規模な更新-完新世の複合扇状地が発達しますが 東縁部は直線的で活断層の伏在が推定されています。

東部地域は新第三系 (中期中新世～鮮新世) の堆積岩 (泥岩・砂岩・礫岩等) ～火山岩 (安山岩～流紋岩等) からなり 中山断層以東では 下位より別所層 青木層 小川層 裾花層 込地層 及び長岩層とその相当層が整合ないし漸移の関係で重なり 著しい南北性の褶曲群によって変形されているものの大略 南から北へより上位の地層が分布しています。本地域北東端では 聖山火山岩類がこれらを不整合に覆い 5.4MaのK-Ar年代が得られています。中山断層以西の大峰累層は 南部ほど上位層が分布し 主に礫岩・砂岩 デイサイト溶岩及び

溶結凝灰岩からなり最上部鮮新統です。

標高700～1000m付近には これらの新第三系の地層や地質構造を切って大峰面群と呼ばれる複数の高位小起伏面が発達し 同面上には大峰礫 (山砂利) と称される花崗岩巨礫が分布し、それらの礫の供給を断った松本盆地の形成は更新世中期と推定されます。我が国でも第一級の地殻変動の激しい興味深い地域です。

5万分の1地質図幅の新刊

信濃池田  
SHINANO-IKEDA

5万分の1地質図幅地域地質研究報告

著者 加藤 碩一・佐藤 岱生  
発行 工業技術院 地質調査所  
取扱先 東京地学協会 (03)261-0809 262-1401  
そのほか全国主要書店  
販売価格 2,580円

地質ニュース	第351号	11月号
昭和58年11月1日	定価 ¥540	千実費
編集	発行	
発行人	工業技術院地質調査所	
発行所	株式会社 実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03)265-0951 (代表)	
	振替口座 東京 1-32466	
総発売元	株式会社 実業公報社	出版事業部